

# 実施方針編

－ 目 次 －

【実施方針編】

学校教育系施設(20 施設 70 棟) .....	2
市民文化系施設(21 施設 23 棟) .....	5
社会教育系施設(7 施設 13 棟) .....	12
スポーツ・レクリエーション系施設(41 施設 60 棟) .....	15
産業系施設(9 施設 16 棟) .....	27
子育て支援施設(14 施設 19 棟) .....	31
保健・福祉施設(5 施設 6 棟) .....	34
医療施設(6 施設 6 棟) .....	37
行政系施設(23 施設 39 棟) .....	40
消防施設(61 施設 61 棟) .....	45
住宅施設(31 施設 149 棟) .....	46
公園施設(8 施設 42 棟) .....	46
供給処理施設(3 施設 6 棟) .....	47

※2020（令和2）年12月末現在

## 【実施方針編】

実施方針編では、具体的な各施設のマネジメントプランを掲載します。

<施設概要>

項目	説明
施設名称	該当する施設名
主たる施設の構造	施設の構造。複数棟の場合、主な施設の構造を記載
総延床面積 (㎡)	施設の総延床面積。複数棟の場合、合計の㎡数を記載
竣工年	主な施設の竣工年
大規模改修年	過去に大規模改修を実施した場合の、実施年
棟数	施設を構成する棟の数
概要	施設の概要
サービス提供の方向性	施設内で行われているサービスの方針を表したもの
施設の方向性	施設自体の方針を表したもの

大規模・中規模改修においてイメージしている工事項目

工事分類	中規模改修	大規模改修
実施時期	竣工後15年・45年	竣工後30年
建築	屋上防水の全部と 外部・建具・内部仕上げ・ 設備道連の一部	屋外防水・外廻り・建具・ 内部関係の全部と 設備道連の一部
電気	発電・通信・避雷関係の一部	受変電・発電・ 中央監視システム 通信・避雷系の一部
機械	空調・換気・給排水衛生関係 の一部	空調・換気・排煙・自動制御・給排 水衛生・消火関係の全部

本表の記載事項はあくまでもイメージです。実際には、各改修の実施前に調査し、必要な改修を選択して実施します

<実施方針>

項目	説明
棟名称	施設を構成する各棟の名称
施設方針	<p>【機能】 継続...市としてサービスを継続 廃止...市としてのサービスを廃止 あり方検討...行政サービス及び施設運営の継続・廃止等を検討</p> <p>【建物】 予防保全...定期的に保全し竣工約 60 年で解体 (基本方針編 2.4.3.3) ) 長寿命化...予防保全の上竣工後約 60 年で改修、約 75 年で建替か解体 市有地移転...施設を他の市有地もしくは市有施設に移転 売却...建物を希望者に売却 譲渡...建物を無償または有償で譲渡 解体...建物を解体 返却...借りていた建物を地権者に返却 あり方検討...譲渡や解体も含めた抜本的見直しによる再配置の検討</p>
期	<p>第 1 期：【前期】 2021～24 【中期】 2025～27 【後期】 2028～2030 第 2 期：【前期】 2031～35 【後期】 2036～40 第 3 期：【前期】 2041～45 【後期】 2046～50</p>
凡例	<p>□：前期中規模改修...竣工約 15 年で実施する改修 ■：後期中規模改修...竣工約 45 年で実施する改修 ○：大規模改修...竣工約 30 年で実施する改修 ◇：解体・売却・譲渡...利用者等と調整し、解体・売却・譲渡 ●：長寿命化改修...概ね竣工 60 年目に実施する改修 ◎：建替...施設の建替</p> <p style="text-align: right;">※策定年以前の改修の有無等は未反映</p>

## 学校教育系施設(20 施設 70 棟)

### 《施設概要》

山梨市の学校施設はつつじ幼稚園、小・中学校、学校給食センターや牧丘・三富教員住宅等、16 施設あり、その方針は、「山梨市学校施設長寿命化計画」において各施設の状況等を鑑みながら示しています。旧牧丘第二、牧丘第三、三富、堀之内小学校については学校としての役割を終えており、それ以外の用途での活用、もしくは活用を検討していることから、学校長寿命化計画の対象とせずに本計画にて方針を示します。学童クラブについては運営の趣旨等により、保育園と併せて子育て支援施設として分類し、方針を示しています。

学校施設の喫緊の課題は学校の維持管理です。校舎躯体は、建築から 40 年以上経て、老朽化が進んでいるものも多いことから、その維持管理について、「児童生徒の安全」と「必要な予算」の両面から効率的・効果的な手法を選択できるよう、学校施設長寿命化計画に基づき、検討する必要があります。

学校の統廃合についても検討課題の一つです。長年「地域コミュニティの拠点」とされてきた学校は、地域住民にもその思いがあることから、統廃合を簡単に決めることはできません。しかしながら、直近3年での平均出生数が200人を下回っており、出生数の減少にともない、児童が少なくなっていく状況を鑑みると、今の学校施設を全て維持管理していくことが必要であるかの検討が急務です。また、すでに複式学級となっている学校は、児童生徒が少ない環境下での教育や学校生活が子ども達にどのような影響を及ぼすかを分析し、子供たちの学習環境のあり方について慎重に議論を進めます。

未来ある子どもたちを「真ん中」にし、少子時代の地域、学校運営の在り方について、多様な関係者と対話と議論を重ねることが重要です。また、学校の統廃合に際しては、社会教育・生涯学習の拠点である地区公民館や、子育て支援施設である保育園や児童センターも併せて検討していきます。

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
幼稚園(1 施設) 小学校(9 施設) 中学校(3 施設) 教員住宅 (2 施設) 学校給食センター(1 施設)						学校施設長寿命化計画をご覧ください		

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
旧牧丘第二小学校	RC	3,122	1984	-	3	旧牧丘第二小学校は主に中牧地区、旧牧丘第三小学校は西保地区、旧三富小学校は三富地区の児童の学校区として長らく子供達の学習を支えてきました。	現在は学校施設としてだけでなく、使い方の多様な可能性を検証しながら、賃貸での活用を協議しています。	旧牧丘第二小は漏水箇所があり、第三小学校は浄化槽の改修が必要なため、現在、上下水が必要な活動等には使えない状態です。
旧牧丘第三小学校	RC	2,351	1977	2008	3	しかし、牧丘・三富地域における児童数の減少を考慮し、2016年に4つの学校を統合して、笛川小学校として再スタートしました。	旧三富小学校は、企業誘致に向けて現在調整中です。地域の方々の意向も汲みながら進めています。	修繕や改修等は、借りの方が決まった段階で協議しながらの実施となります。
旧三富小学校	RC	2,459	1979	1996	2	廃校となった3校の活用について、牧丘第二小、第三小については、地域の意向をくみながら活用検討委員会で検討を進めています。また、旧三富小については、企業誘致の方針で調整を進めています。	また、旧三富小以外の体育館は、市の社会体育施設として主に地元の方々への貸出を継続しています。今後、小学校全体を賃貸することになった場合も、社会体育施設として利用したい意向がある限りは賃貸希望者と協議し、貸し出せるようにしていきます。	旧三富小学校は、サービス提供の方向性で示した通り、企業誘致に向けて調整を進めていきます。
旧堀之内小学校	RC	3,147	1981	-	3	主に八幡地区内にある切差、水口、堀内、大工区の児童の学習を支えてきましたが、児童数の減少により、2007年に八幡小学校に統合しました。	校舎は、文化財保存活用地域計画で今後の活用の方向性を検討します。	また、「第2章」に記載した通り、このまま市の施設として保有する場合は3校とも、定期的な保全を行ない、目標耐用年数を迎える「竣工から60年目」を目安に解体することを原則とします。但し、今後、地域との協議の中で、地域の拠点施設として残していく場合等は、原則を適用しないこともあります。
						現在、校舎は埋蔵文化財の保管施設として活用し、体育館は社会体育施設として貸出を行なっています。	体育館は2026年までに現利用団体への説明を経てスポーツ施設としての役割を終わらせます。	2010年代に、旧耐震基準で建てられた山梨市内の小学校の耐震化を実施しましたが、旧堀之内小学校は、閉校が決まっていたため、耐震化を実施していません。
							プールは、すでに利用がない状態です。	今後は文化財保存活用地域計画での活用方針との調整の中で、解体も踏まえて使い方を検討し、決定内容を実施していきます。時期は、概ね第1期後期をめぐりにします。
								体育館及びプールは、第1期中期までに解体の方向で調整します。

## 《実施方針》

【凡例】 □:前期中規模改修 ■:後期中規模改修 ○:大規模改修 ◇:解体・売却・譲渡 ●:長寿命化改修 ◎:建替

■ 第1期:2021~2030 ■ 第2期:2031~2040 ■ 第3期:2041~2050

施設名称	棟名称	施設方針		第1期			第2期		第3期	
		機能	建物	前期	中期	後期	前期	後期	前期	後期
旧牧丘第二小学校	校舎	継続	予防保全			■			◇	
	体育館	継続	予防保全			■			◇	
	プール	廃止	解体		◇				◇	
旧牧丘第三小学校	校舎	継続	予防保全	■					◇	
	体育館	継続	予防保全	■					◇	
	プール	廃止	解体		◇				◇	
旧三富小学校	校舎	継続	予防保全		■			◇		
	体育館	継続	予防保全		■			◇		
旧堀之内小学校	校舎	継続	予防保全			あり方検討				
	体育館	中断	解体		◇					
	プール	中断	解体		◇					

## 市民文化系施設(21 施設 23 棟)

### 《施設概要》

市民文化系施設には、主に市民が集まる機能としての用途を持った施設をまとめました。  
 主に、行政区ごとに管理する「公会堂」、社会教育法に基づく「公民館」、同じく社会教育法に基づいた「文化ホール」などが対象となります。  
 公会堂以外の施設は、比較的施設規模が大きいいため、維持管理更新経費が歳出に与える影響も大きくなってしまふことが問題です。  
 施設のあり方の継続的な検討に加え、維持管理経費の効率化が極めて重要な課題です。  
 また、新型コロナウイルス感染症への対応策としての「新しい生活様式」のあり方、運営方法を模索しながら事業実施をしていく必要があります。

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
上神内川6区公会堂	W	222	1964	2009	1	山梨労働基準監督署から譲り受け、上神内川6区の公会堂として有償で貸付しています。施設自体は比較的新しいものですが、今後は維持管理経費や修繕費の増大が予想されます。	行政区では、その区内で暮らすに当たって必要な生活基盤に関する運営がされており、公会堂はその拠点ともいえます。今後もその役割を維持することが前提です。 但し、人口減や、区への入会者数の減少により、今後、維持が困難になることが予想されることや、行政区長・役員さんの役割が多岐にわたり負担となっていることも鑑み、今後は区内の住民の皆さんの中で、行政区の運営における課題の解決に向けて対話と議論をしていく必要があると考えます。 それに対し、市としてお手伝いできることを模索していきます。	貸付の契約当初は、各区の状況や施設由来の様々な理由から譲渡ではなく貸付という手法を選択してきました。しかし、本計画の基本方針（第2章）にて、普通財産の施設については、長寿命化を前提としないと示したことから、解体・譲渡等、今後のあり方を行政区と協議していきます。  水口高齢者ふれあいプラザについては、第1期中期までは市の介護予防事業を継続する予定であり、そのころまでは市の施設として保有していきながら、その後のあり方について、地域との話し合いの中で検討していきます。
牧丘町替地公民館	W	138	1953	-	1	替地区の集会所として利用されています。建物が古くなっており、継続して使用するにはメンテナンスが必要です。		
小原西3区老人憩いの家	W	151	1970	-	1	小原3区の公会堂として有償で貸付しています。		
下神内川7区公会堂	W	84	1978	-	1	下神内川7区の公会堂として無償で貸付しています。		
水口高齢者ふれあいプラザ	W	79	2001	-	1	高齢者の介護予防事業の拠点として設置し、維持管理は区との協定に基づき、区分されています。		



施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
山梨市牧丘町コミュニティセンター	S	626	1995	-	1	旧牧丘町の保健センターとして建設されました。現在は、民間事業者の有償で貸し付けています。竣工から25年と、比較的新しい施設ですが、設備の劣化が見られ、稼働はするものの、いつ壊れてもおかしくない状況です。	「施設の解体」と「サービス自体の終了」が直接的な因果に結びつかないように、事業者と丁寧に協議を進めます。	「2040年を期限とし解体」の目標を設定し、利用団体と協議します。事業者の意向によっては売却や譲渡も検討します。
加納岩公民館	RC	773	1977	2018	1	社会教育法で定められた施設で、市町村その他一定区域の住民の皆さんのために、日常に沿った教育、学術及び文化に関する各種事業（生涯学習事業）を行ない、住民の教養の向上、健康増進、情操の純化をはかり、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するための施設です。  2010年代に耐震・大規模改修を実施しましたが、その対象にしなかった設備等の劣化が見られ、修繕費用がかさんでいます。  また、利用団体の高齢化も著しいほか、施設によっては利用状況にばらつきがあり、早急なあり方検討が必要です。	「社会教育・生涯学習を推進する目的」と「市民ニーズ、施設の状況」の両面から事業運営のあり方を検討します。  特に、今後も公民館事業を長期的に継続していくには、現在の主な利用者に向けた貸館や事業の充実だけでなく、若い世代の「生き方・地域での暮らし方」、子ども達の「生きるための学びと成長」を支えられるような事業とは何かという、大きなテーマから改めて見つめなおし、事業を再編する必要があると考えています。  それには、教育行政の考えだけでなく、民間事業者や地域の皆さんの考え方を柔軟に取り入れ、協力体制の再構築も視野に入れた事業運営の検討が必要です。  またその検討の基礎となる、公民館の利用に関する「定性的・定量的な情報」の蓄積も、段階を追って進めます。	地区公民館は「市の社会教育・生涯学習の拠点として長寿命化を前提とした維持管理を行なう」という方針が、策定段階での基本的な考え方です。  しかし、そもそも建物の規模が比較的大きいため、毎月発生する維持管理経費の財政に与える影響も大きいことや、現実に、施設の老朽化により修繕費も増えていること、地区によっては人口減に伴う利用者減が進んでいくことが予想されることなどから、今の方針が一番良い判断かは、今後議論していく必要があります。  については、事業（サービス）運営のあり方検討の結果や児童数の減少を踏まえた学校の統廃合検討の過程なども踏まえ、公民館同士の統廃合や他用途施設との複合化等、多様な選択肢を視野に入れ、施設の方針を検討していきます。
日下部公民館	RC	655	1973	2015	1			
後屋敷公民館	RC	655	1974	2020	1			
日川公民館	RC	570	1979	2016	1			
山梨公民館	RC	616	1976	2019	1			
八幡公民館	RC	634	1978	2013	1			
岩手公民館	RC	523	1975	2014	1			



施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
山梨市民会館・山梨市立図書館	RC	6,114	1977	2015	3	市民の教育、文化の向上および福祉の増進のために設置された文化会館で、ホール及び図書館、会議室の貸館業務を実施しています。また、市立図書館が併設されています。	山梨市民の文化・教育の中核を担う施設であり、今後もその機能を継続していきます。また、市民サービスの向上や効率的な運営を目指し、指定管理者制度の導入も検討します。	サービスの方向性に沿って、施設を定期的にメンテナンスしていきます。メンテナンスにあたっては、利用者の利便性とメンテナンスのしやすきのバランスを十分に研究し、進めていきます。また、長寿命化の対象施設の中でも比較的規模の大きい施設であることから、今後は、複合化・多目的化も前提として検討していきます。
山梨市地域交流センター（街の駅やまなし）	S	755	2009	-	1	山梨市駅を中心市街地の活性化を目指して建設した施設で、主に地域活動への貸施設業務や、芝生広場を使ったイベント、市内をめぐるレンタサイクル事業などを実施しています。年間延べ4万人が利用しており、イベント時に駐車場が不足すること、照明のLED化、指定管理者制度の導入の可否の検討などが課題です。	今後も、まちづくり・協働の拠点として、市内外の人々が交流できる拠点として機能を継続していきます。	長寿命化を前提とした保全を行ない、イベント時の駐車場は今後も、イベント主催者に、近隣施設を借りていただくなどして対応していきます。照明のLED化は、他施設でも同様の課題があることから、庁内全体で取り組んでいきます。
山梨市花かげホール	RC	1,697	1997	-	1	市民が芸術文化に接する機会の拡大と、文化振興・福祉充実を目的に設置されたホールです。主に音楽ホールとして力点をおき、バイオリン教室なども開催しています。設備の劣化が進み、早急な対応が必要です。	今後も、市民の芸術文化を支える場として、維持管理していく予定です。また、市民サービスの向上や効率的な運営を目指し、指定管理者制度の導入も検討します。	市民ニーズに合った改修・定期メンテナンスを進めます。但し、音楽ホールとしての専門的な保全が必要であることや、施設規模が比較的大きいことなどから、市民会館同様、利用者の利便性とメンテナンスコストのバランスを、他施設も併せて研究していきます。また、長寿命化の対象施設の中でも比較的規模の大きい施設であることから、今後は、複合化・多目的化も前提として検討します。

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
中牧多目的集会施設 (中牧公民館)	RC	589	1983	-	1	農山村地域における住民同士の交流を促進するため、中牧地区に多目的集会施設を設置しました。 市町村合併後は、社会教育法で定められた生涯学習事業を実施する公民館の機能を併せ持たせています。現在、多目的集会施設としての利用は1割ほどで、公民館としての利用が主となっています。	山梨地域の地区公民館同様、「社会教育・生涯学習を推進する目的」と「市民ニーズ、施設の状況」の両面から事業運営のあり方を検討します。	事業（サービス）運営のあり方検討の結果等もふまえ、公民館同士の統廃合や他用途施設との複合化等、多様な選択肢を視野に入れ、施設の方針を検討していきます。
西保多目的集会施設 (西保公民館)	RC	581	1990	-	1	農山村地域における住民同士の交流を促進するため、西保地区に多目的集会施設を設置しました。 市町村合併後は、社会教育法で定められた生涯学習事業を実施する公民館の機能を併せ持たせています。現在、多目的集会施設としての利用は1割ほどで、公民館としての利用が主となっています。	山梨地域の地区公民館同様、「社会教育・生涯学習を推進する目的」と「市民ニーズ、施設の状況」の両面から事業運営のあり方を検討します。	事業（サービス）運営のあり方検討の結果等もふまえ、公民館同士の統廃合や他用途施設との複合化等、多様な選択肢を視野に入れ、施設の方針を検討していきます。
旧牧丘町総合会館(YLO会館)・山梨市牧丘デイサービスセンター	RC	1,536	1975	1995	1	複合施設として長年活用されてきましたが、2018年に完全閉館しました。閉館後は、跡地活用について関係課による協議を行ってきました。	総合会館機能が牧丘支所に移転したことで、役割を終えました。また、今後にも新たなサービスを提供する予定はありません。	サービス面での利用がないことを踏まえ、解体します。解体後の土地は、主に牧丘 B&G 海洋センター、花かげホール、花かげの湯の駐車場として整備します。

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
三富基幹集落センター (三富公民館)	RC	1,015	1982	-	1	旧三富村時代に竣工し、現在は三富地域全体の集会場機能と、社会教育法で定められた生涯学習事業を実施する公民館の機能を併せ持たせています。人口減、利用者減の中で、施設の老朽化に伴う改修の検討を含めたあり方検討をする必要性が生じてきています。	災害時の避難場所としてはなくてはならない施設ですが、今後は平時での利用についても幅広く、多目的な活用を検討していきます。	今後の三富地域の人口規模を考慮し、基幹集落センター、三富支所のあり方を併せて検討していきます。旧三富小学校についても、企業誘致の状況によっては、2施設のあり方検討と合わせて一体的に考えていきます。
三富公民館 川浦分館	W	182	1981	-	1	旧三富川浦小学校の講堂に新しく施設を増設し、三富公民館の分館として社会教育活動の場として活用されてきました。 近年は、社会教育施設としての利用がなく、現在は主に天科地区の集会所として利用しています。また、講堂部分は老朽化が著しく、社会教育施設としての役割を維持できるかが課題です。	現在、社会教育活動の利用がないことから、用途廃止を行ない、川浦2区天科地区の集会所としての利用を継続します。	生涯学習施設としての用途を廃止したのち、天科地区への譲渡も視野に検討します。

# 《実施方針》

【凡例】 □:前期中規模改修 ■:後期中規模改修 ○:大規模改修 ◇:解体・売却・譲渡 ●:長寿命化改修 ◎:建替

■ 第1期:2021~2030 ■ 第2期:2031~2040 ■ 第3期:2041~2050

施設名称	棟名称	施設方針		第1期			第2期		第3期		
		機能	建物	前期	中期	後期	前期	後期	前期	後期	
上神内川6区公会堂	-	廃止済【賃貸中】	譲渡・解体		◇						
牧丘町替地公民館	-	廃止済【貸付中】	譲渡				◇				
小原西3区老人憩いの家	-	廃止済【賃貸中】	解体		◇						
下神内川7区公会堂	-	廃止済【賃貸中】	譲渡・解体	■	◇						
水口高齢者ふれあいプラザ	-	継続	あり方検討		あり方検討						
山梨市牧丘町 コミュニティセンター	-	廃止	譲渡・解体					◇			
加納岩公民館	-	第1期中にあり方検討	あり方検討の結果により実施	あり方検討							
日下部公民館	-										
後屋敷公民館	-										
日川公民館	-										
山梨公民館	-										
八幡公民館	-										
岩手公民館	-										
中牧多目的集会施設 (中牧公民館)	-										
西保多目的集会施設 (西保公民館)	-										
山梨市民会館・ 山梨市立図書館	本棟	継続 機能複合 受入対象	長寿命化	■			●				
	車庫			■			●				
	倉庫			■			●				

施設名称	棟名称	施設方針		第1期			第2期		第3期	
		機能	建物	前期	中期	後期	前期	後期	前期	後期
山梨市地域交流センター (街の駅やまなし)	-	継続	長寿命化		□			○		
山梨市花かげホール	-	継続	長寿命化			■				●
旧牧丘町総合会館(YLO 会館) 山梨市牧丘デイサービスセンター	-	廃止済	解体	◇						
三富基幹集落センター (三富公民館)	-	1期前期に あり方検討								
三富公民館川浦分館	-	廃止※	あり方検討	あり方検討						

※社会教育施設の用途廃止

## 社会教育系施設(7 施設 13 棟)

### 《施設概要》

社会教育系施設は、主に文化財や、歴史的に価値を持つ施設を対象にいたしました。  
特に文化財については、施設の再編等には直接関わり合いがあるわけではありませんが、維持管理の特殊性から、多額のコストがかかることも踏まえ、計画そのものや試算に含めています。文化財の活用は、2021年3月に策定する「山梨市文化財保存活用地域計画」の記載を踏まえて実施していきます。

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
横溝正史館	W	73	1955	2006	1	推理小説の巨匠、横溝正史が晩年まで執筆の場に使用していた書斎を移築した施設で、室内には自筆の原稿など貴重な資料70点ほど展示しています。 寄贈していただいた際に改修をしましたが、すでに目標耐用年数も過ぎ、老朽化が進んでいます。	展示している貴重な資料は保存環境が良く、ファンも一定数いることから、今後も一般公開を継続します。	2028年頃までは今の経費内で管理を行います。施設改修に新たな予算措置はせず、修繕費等が必要な場合は閉館の上、施設調査を実施し、その結果を踏まえて存続・解体を判断します。また、書籍や資料等は図書館に移設し、一般への公開を続けます。
根津記念館	W	1,254	2008	-	6	日本の政治家・実業家で「鉄道王」と呼ばれた初代根津嘉一郎翁の生家です。 長屋門・旧主屋・土蔵の3棟が国の有形文化財に指定されています。 見学・ロケーション撮影等の有償利用受入れや、イベントを実施しています。	文化財保存活用地域計画とも併せながら、根津翁が残した功績や、この施設の価値をより多くの方に知っていただくための施策を今以上に推進します。 運営に際しては、指定管理者制度の導入なども検討します。	あたらしいサービスの展開のために施設を改修する場合は、文化財としての価値を損なわないような保全の方法を研究し、後世に永くその価値を伝えられるように維持管理していきます。
旧坂本家住宅	W	182	1761	-	1	江戸時代に建てられた住宅で、峡東地域特有の切妻民家の原型となる建物です。	貴重な建築史料・歴史資料の存在を知っていただくための施策が必要です。 文化財保存活用地域計画を踏まえて、今後の保存活用を検討します。	文化財保存活用地域計画における対象文化財の活用方法にあわせ、維持管理を行なっていきます。

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
川浦口留番所	W	43	1993	-	1	甲斐と武蔵を結ぶ雁坂道の関所として江戸時代に設けられた番所を復原した施設です。 また、近年、ゲリラ豪雨等の発生で崖崩れが頻発し、建物に影響することがあります。修繕費用の確保が課題です。		
中牧神社トイレ	W	20	2017	-	1	中牧神社は、室町時代に建立した本棟と、当時から現在までの修繕歴がわかる「棟札」が全て残っている貴重な神社です。見学する方の利便性を図るため、2017年にトイレを改修しました。	貴重な建築史料・歴史資料の存在を知っていただくための施策が必要です。文化財保存活用地域計画をふまえて、今後の保存活用について検討します。	文化財保存活用地域計画における対象文化財の活用方法にあわせ、維持管理更新を行なっていきます。
牧丘郷土文化館	W	146	2003	-	1	明治9年に室伏学校として開校。小学校としての役目を終えた後は、地域の公民館など多目的に活用されてきました。 2003年に現在の地に移築され、牧丘郷土文化館として、地域の文化人の紹介やル・ベンスの版画を展示する文化施設として新たな役割を担っています。 県内に現存する数少ない藤村式建築物です。市指定文化財。	貴重な建築史料・歴史資料の存在を知っていただくための施策が必要です。文化財保存活用地域計画とも併せながら、地元の素材を生かした食材等を提供するカフェや室内でのイベント、貸館の可能性などを検討します。	根津記念館同様、あたらしいサービスの展開のために施設を改修する場合は、文化財としての価値を損なわないような保全の方法を研究し、後世に永くその価値を伝えられるように維持管理していきます。
旧吉田邸	W	337	1900年頃	-	2	窪八幡神社の宮司が代々居住してきた邸宅で、市に寄贈いただきました。	文化財に指定されてはませんが、今後、窪八幡神社と合わせた保存活用を検討しています。	文化財保存活用地域計画における対象文化財の活用方法にあわせ、維持管理更新を行なっていきます。



## 《実施方針》

【凡例】 □:前期中規模改修 ■:後期中規模改修 ○:大規模改修 ◇:解体・売却・譲渡 ●:長寿命化改修 ◎:建替

■ 第1期:2021~2030 ■ 第2期:2031~2040 ■ 第3期:2041~2050

施設名称	棟名称	施設方針		第1期			第2期		第3期	
		機能	建物	前期	中期	後期	前期	後期	前期	後期
横溝正史館	-	廃止	解体			◇				
根津記念館	長屋門	継続	長寿命化	□				○		
	旧母屋	継続	長寿命化	□				○		
	土蔵	継続	長寿命化	□				○		
	青山荘	継続	長寿命化	□				○		
	展示棟	継続	長寿命化	□				○		
	多目的トイレ	継続	長寿命化	□				○		
旧坂本家住宅	-	文化財保存活用計画を踏まえ検討								
川浦口留番所	-									
中牧神社トイレ	-									
牧丘郷土文化館	-									
旧吉田邸	本棟									
	門									

## スポーツ・レクリエーション系施設(41 施設 60 棟)

### スポーツ施設(12 施設 19 棟)

#### 《施設概要》

スポーツ施設は、主に体育館や温水プールなどの屋内施設と、スポーツ広場などの屋外施設を指します。広く市民の体育・スポーツ振興及び健康増進を図るために設置し、団体への貸出やスポーツ教室の場として利用されています。

屋内施設は、けがや事故防止に特別な配慮を必要とすることや、比較的大規模な施設であることなどから維持管理に多額の費用が発生しますが、設置目的の達成のためには必要な投資であるとも考えます。

屋外施設は、主にトイレと倉庫を示し、建物自体が歳出に与える影響自体は少ないものです。しかし、今後は、市保有施設全体の照明器具のLED化で多額の更新費用を要します。スポーツ広場はいずれ、LED化すべき施設の選定を行ない、LED化する施設は、極力まとめて発注し経費を縮減します。また、LED化しない施設は、水銀灯が利用不可になった際に夜間貸出中止などの対応をする可能性があります。

今後も、市民の皆さんがスポーツを通じてくらしを豊かにできるように、施設の質を保ちながらも様々なコストを抑える工夫をしていきます。

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	夜間貸出	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
旧三富市民プール	RC	793	2000	-	1		市民プール及び旧三富小のプールとして利用してきましたが、旧三富小の統廃合や市民プールとしての利用者減により、現在は閉鎖中です。施設は比較的新しく、早急な活用の検討が必要です。	旧三富小学校の活用において、企業等から利用の意向があった場合は、貸出の対象とします。	サービス提供の方向性に沿って貸出となった際の改修等について、市としては実施する予定はなく、貸出の際は現状のままとします。
市民総合体育館	SRC	6,144	1984	2016	5	有	山梨市の屋内スポーツの拠点であり、国体や高校総体規模の大会が開催できる数少ない大規模スポーツ施設として多くの利用があります。現在は、指定管理者制度を利用し、県内のスポーツクラブに管理運営を委託しています。竣工からもうすぐ36年目を迎え、施設の老朽化が目立ちます。優先順位をつけて改修を進めていますが、規模も大きく、多額の費用が掛かっています。	今後も山梨市の屋内スポーツの拠点として運営していきます。運営に際しては、今まで通り、指定管理者制度での運営委託を引き続き進めます。	サービスの方向性に沿って、施設を定期的に保全していきます。保全にあたっては、修繕計画を別途作成した上で「利用者の利便性」「メンテナンスのしやすさ」「コスト」の3つのバランスを研究していきます。

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (m <sup>2</sup> )	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	夜間貸出	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
屋内温水プール	S	1,170	1998	-	1	有	市民の体育・スポーツの振興及び健康増進を図るために設置し、現在は市民総合体育館と併せて県内のスポーツクラブに管理運営を委託しています。建設から20～30年経過し、設備の劣化が進んでいます。保全コストの抑制の工夫が必要です。	今後も指定管理者制度での運営委託を引き続き進めます。また、今後、学校プールの廃止、解体の代替施設としての利用可能性が考えられます。利用に際しては、学校の先生方や、プール管理者と十分に協議した上で、進めます。	市民ニーズに合った改修・定期メンテナンスを進めます。但しプールとしての専門的な保全が必要であることや、施設規模が比較的大きいことなどから、他施設同様、「利用者の利便性」「メンテナンスのしやすさ」「コスト」の3つのバランスを研究していきます。
牧丘B&G海洋センター	S	1,719	1988	2016	1	有	住民の健康及び青少年の健全育成並びに地域の連帯感の情勢を図ることを目的に、ブルー・シーアンドグリーンランド財団の助成を得て設置しました。現在は県内のスポーツクラブに管理運営を委託しています。2008～2018年にかけて複数の改修や修繕工事を実施しており、今後も築年数に従い劣化が進むと考えられます。保全コスト抑制の工夫が必要です。	多用途での利用も踏まえたあり方検討を早急に行います。	第1期前半よりあり方検討を行ない、その結果に基づいて施設の方針を決定します。ただし、水銀灯が使用不可になったタイミングで今後の利用見込みが立たなければ夜間照明及びトイレを解体し、跡地利用について検討します。三富川浦スポーツ広場は、大型バスの乗り入れが可能ないように入口を整備します。
山梨市民三富川浦スポーツ広場	CB	8	1981	-	1	有	三富川浦地区の施設ですが、現在、スポーツ施設としての利用は年間を通してほぼありません。近くに自然観光スポットとして人気の一の釜があり、車で来た観光客の駐車場としての利用が想定されます。		
山梨市民三富徳和スポーツ広場	S	3	1983	-	1	有	三富徳和地区に作られたスポーツ施設の利用は、現在、年に1～2件と少ない状態です。夏の時期に、乾徳山の登山者の臨時駐車場として開放しています。		

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積(m)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	夜間貸出	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
山梨市民牧丘西保スポーツ広場	W	33	2006	-	1	有	旧牧丘町西保地区にあるスポーツ広場です。利用者は少ないものの、地区の祭りや、スポーツ、ゲートボール等で利用されています。	他の夜間照明施設が近場にもあり、地域の皆さんとの十分な話し合いが必要です。	第2期前半よりあり方検討を行ない、その結果に基づいて施設の方針を決定します。 ただし、水銀灯が使用不可になった時点で今後の利用見込みが立たなければ夜間照明及びトイレを解体し、跡地利用について検討します。
山梨市民三富士もだいらスポーツ広場	W	42	2008	-	1	有	比較的新しく、夏の時期を中心に近くの民宿に宿泊する方や、山梨地域のスポーツ少年団が暑さを避けるために利用しています。	他施設との特色の違いから、特に夏場は今後も利用者が一定数いると見込んでいます。当面は、継続して利用できる状況にします。	第3期前半よりあり方検討を行ない、その結果に基づいて施設の方針を決定します。
山梨市民八幡スポーツ広場	RC	28	1982	-	2	有	小原スポーツ広場同様、屋間に使えるグラウンドとして、年間延べ約1.2万人の利用者がいる施設です。	今後も、市民の皆さんに屋外スポーツを楽しんでいただくために維持管理していきますが、今後の人口減少も念頭に、第2期にあり方検討を行ない、そのあとの方針を決めていきます。	サービス提供の方向性に合わせて保全していきます。
山梨市民小原スポーツ広場	W	190	2014	-	4	有	市の屋外スポーツ施設の拠点として多くの市民の方に利用されています。防災機能も併せ持ち、有事の際の中心拠点を想定した施設です。	今後も、市民の屋外スポーツの拠点、防災の拠点としてサービスを提供します。	市民ニーズに合った改修・定期メンテナンスを進めます。
石原なち子記念体育館	RC	1,207	1980	-	1	有	八幡地区にある体育館です。寄贈により建設され、地元の方々を中心に年間延べ約1.2万人の利用があります。耐震改修が未実施の一方、デザイン性のある特殊な造りのため、改修には通常以上のコストがかかります。	多用途での利用も踏まえたり方検討を早急に行ないます。	サービス提供の方向性に合わせて保全していきます。
三枝慶一郎記念コート	その他	0	2005	-	1	有	寄贈により市の施設となりました。現在は笛川中学校のテニスコートとして活用しています。	今後も、笛川中のテニスコートとして利用していくほか、市民からの申請があった場合も継続して貸出します。	笛川中の今後の動向も踏まえながら、サービス提供の方向性に合わせて保全していきます。

## 《実施方針》

【凡例】 □:前期中規模改修 ■:後期中規模改修 ○:大規模改修 ◇:解体・売却・譲渡 ●:長寿命化改修 ◎:建替

■ 第1期:2021~2030 ■ 第2期:2031~2040 ■ 第3期:2041~2050

施設名称	棟名称	施設方針		第1期			第2期		第3期	
		機能	建物	前期	中期	後期	前期	後期	前期	後期
旧三富市民プール	-	廃止済	三富小と併せ検討							
市民総合体育館	本棟	継続	長寿命化			■			●	
	武道館	継続	長寿命化			■			●	
	屋外便所	継続	長寿命化		○			■		
	弓道場	継続	長寿命化			■			●	
	トレーニング室	継続	長寿命化				○			
屋内温水プール	-	継続	長寿命化						■	
牧丘B&G海洋センター	-	継続	長寿命化				■			●
山梨市民三富川浦スポーツ広場	-	あり方検討により方針決定・実施		あり方検討						
山梨市民三富徳和スポーツ広場	-									
山梨市民牧丘西保スポーツ広場	-	継続	予防保全				あり方検討			
山梨市民三富すももだいらスポーツ広場	-	継続	長寿命化	□				○	あり方検討	
山梨市民八幡スポーツ広場	倉庫	継続	長寿命化			■	あり方検討			
	トイレ	継続	長寿命化			■				
山梨市民小原スポーツ広場	管理棟・トイレ・倉庫	継続	長寿命化			□			○	
	屋外トイレ・倉庫	継続	長寿命化			□			○	
	あづまや1	継続	長寿命化			□			○	
	あづまや2	継続	長寿命化			□			○	
石原なち子記念体育館	-	あり方検討により方針決定・実施		あり方検討	■			●		
三枝慶一郎記念コート	-	継続	施設なし							

## レクリエーション施設(28 施設 41 棟)

### 《施設概要》

レクリエーション施設は、主に観光施設や登山道等に設置されたトイレや休憩所などを対象としています。

道の駅は、雁坂峠に至る 140 号沿いにあり、観光シーズンを中心に市内外の多くの方に利用されています。温泉施設も、市民を中心に親しんでいただいている施設です。しかし、温泉は泉質上、設備の劣化サイクルが早いこと、また、道の駅も施設規模が比較的大きい施設であることから、維持管理には膨大な費用が掛かります。温泉、道の駅ともに、利用の意義と経常コストのバランスをどのように計るかが大きな課題です。

トイレは、訪れる方々の利便性を考慮した方針を検討します。

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
三富温泉休憩施設「みとみ笛吹の湯」	W	314	1989	-	2	「市民の健康の維持増進と福祉の向上」「地域住民の交流」を目的として旧三富村に設置した温泉施設です。三富サービスセンターと併設しています。利用率の向上が課題です。	今後のありかたについて、「エリアマネジメント」の視点から、三富サービスセンターも併せて第 1 期中に検討します。その際、直営での運営だけでなく、賃貸や売却など、多角的な検討を行いません。	あり方検討の結果を踏まえ、実施していきます。
花かげの郷まきおか「花かげの湯」	RC	1,248	1995	-	1	市民の健康の維持増進と福祉の向上」「地域住民の交流」を目的として旧牧丘町の花かげホールに隣接して設置した温泉施設です。年間の利用者は、過去 3 年間で平均約 8 万人（市内外問わず）ですが、2016 年以降、改修や備品設置工事が毎年実施されています。	当面は現状のままの運営をしていく方向ですが、長期的な観点からの「市民の交流や福祉の増進」の目的が今後達成されていくかどうか、早急な検討が必要です。	目標耐用年数までは維持管理していく方向です。ただし、今後の利用者の動向や、設備の劣化状況によっては、解体視野に入れたあり方検討をしていきます。また、それぞれの施設について、併設している施設との兼ね合いも踏まえて検討していきます。

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
花かげの郷まきおか「鼓川温泉」	W	859※	1995	-	1	市民の定住と都市との交流を促進し地域の活力増進と情報交換を図るために牧丘町西保地区に設置された温泉です。隣接する牧丘交流促進センターとも併せて、地域住民の交流の場になる一方で。利用者の固定化も見られます。	地域住民の皆さんの交流の拠点として当面は運営していきますが、牧丘交流促進センターとともに今後の在り方を検討していく必要があります。第1期前期から、西保地域の他施設も含めて、地域の方々と検討します。	あり方検討の結果に基づいて施設の方針を決定します。  ※延床面積は牧丘交流促進センターとの合算です。
花かげの郷まきおか「道の駅」	W	420	1999	-	3	地域産業の活性化と市の情報提供及び都市との交流を図るために設置した施設です。 地物野菜や果物の販売所や飲食店等があるほか、遊具がある彩甲斐公園や、牧丘郷土文化館も隣接しています。 現在は、指定管理者制度を利用し、第3セクターに運営を委託しています。利用者は年間延べ約14万人です。(H28～30年間実績平均)。	今後10～20年は、観光施設兼ドライバーやバイカーの皆さんの休憩所として維持管理していきます。 第2期中に、利用者やサービスの担い手の状況を踏まえてあり方検討を行います。今後のサービスの方向性を決定します。それまでは、引き続き、訪問者の皆さんが楽しんでいただけるようなサービスの提供に努めます。	第2期に実施するあり方検討の中で決定した方針をもとに、長寿命化や建替、解体などの方針を決定し、実施します。それまでは定期的な保全を実施していきます。
三富交流促進センター「道の駅みとみ」	S	650	1997	-	1	都市と山村住民との交流を図るため、地域の特産品の展示販売・地域の紹介や情報提供を行なう施設です。 雁坂峠手前の商業施設であり、西沢渓谷にも徒歩で行ける距離であることから、シーズンを中心にドライバー・バイカー・登山愛好者などでにぎわっており、年間延べ約17万人の利用があります(H28～30年間実績平均)。 現在は、指定管理者制度を利用し、第3セクターに運営を委託しています。		



施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
牧丘交流促進センター	W	859※	1995	-	1	鼓川温泉の右半分の建物で、食堂があります。地域住民の交流の場です。その一方で、地域内には大きな施設が数か所あり、それぞれの利用も多くないのが現状です。地域内で施設の全体の活用について協議が必要です。	地域住民の皆さんの交流の拠点として当面は運営していきませんが、鼓川温泉とともに今後のサービス提供の在り方を検討していく必要があります。第1期前期から、西保地域の他施設も含めて、地域の方々と検討します。	あり方検討の結果に基づいて施設の方針を決定します。 ※延床面積は花かげの郷まきおか「鼓川温泉」との合算です。
オ-チャードヴィレッジ・フフ	W	2,135	1992	-	1	旧牧丘町時代に建てたホテルです。民間企業と賃貸契約を結び「保健農園ホテル・フフ」として、特に市外県外のお客さんから人気でした。施設が木造で老朽化し、雨漏りなどがあり、現在は直営で応急的な修繕を行っていますが、運営を続けるのであれば抜本的な改修などが必要となります。	2020年10月に借主から撤退の申し出があり、今後は地域の意見等を聞きながらその方向性について多面的に検討します。	今後1年以内に方向性を示します。
広瀬湖ふるさと記念館	S	205	1979	-	1	県営の建物を譲り受けました。森林セラピー基地になっていますが、現在は利用されていません。利用可能性についての検討が必要です	施設が担っていた機能が縮小し、現在は空施設の状態です。市の直営での活用予定もありません。	第1期を目途に解体に向けて協議します。
三富乾徳公園 (トイレ)	W	12	1993	-	1	三富乾徳公園内に設置したトイレです。登山者に人気の乾徳山を擁する徳和集落の入口にあり、特に観光シーズンに利用が多い状況です。	来訪者のみなさんにこれからも気持ちよく使っていただくために、今後も残していきます	定期的にメンテナンスを実施していきます。

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
三富みそ加工場	W	186	1945	-	3	旧川浦広瀬分校を活用した味噌加工場で、地元の会社がこの地域の水を使ったこの施設でしかできない味噌を商品用として加工し、道の駅みとみなどで販売しています。	みそ加工場がこの施設 1 軒になったことから、利用者がいる限りはこの施設が必要ですが、行政財産として所有必要性は低いと考えます。	普通財産とし、第 3 セクターへの譲渡の方向で協議します。
大弛小屋	W	115	1963	-	2	利用者は少ないものの、登山者の避難小屋となっています。冬季は閉鎖となります。老朽化が激しく、今後、定期的な保全が必要です	今後も登山者の休憩所や避難小屋として運営していきます。	定期的に保全していきます。
西沢山荘	W	491	1977	-	2	登山をする方々の休憩所として設置されました。麓からの距離も近く、トイレ以外にあまり利用がありません。施設の老朽化が激しく、施設のあり方検討が必要です	避難小屋としての用途も検討しましたが、現状では、利用できるような状態ではないことや、ねとりや入口に戻ったほうが早いとの考えもあり、今後、利用の可能性は少ないと考えます。	現在、山荘内に残っている荷物や看板等の整理を行ない、第 1 期中期中の解体完了を目指します。
三富久渡の沢つり場	W	80	1981	-	1	地域産業の活性化と都市への情報提供を目的として設置されましたが、令和元年に台風被害を受けて使用できない状態です。また、復旧にはかなりの金額を必要とします。	みとみ活性化協議会において、自然災害等が発生する懸念及び新しい水道施設の確保等の理由を説明し、廃止することで集約されました。	第 1 期前期中の解体完了を目指します。
帯那山休憩所	RC	51	1965	-	1	山梨の百名山の 1 つ、帯名（おびな）山の山頂にある休憩所です。現在、山全体に星などが見られるようなウッドデッキを設置し、登山で訪れた方が楽しめるように整備しています。竣工から 55 年経過しており、コンクリートの劣化が懸念されます。	新たにウッドデッキを 10 か所程度設け、施設の充実を図っています。既存の休憩所もランニングコストはかからず、緊急避難時の大切な施設として機能しています。	長寿命化改修を施し、定期的に保全していきますが、第 1 期後期にあり方検討を実施し、その結果により建替か解体を決定します。

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
高原ヒュッテ	W	51	1970	-	1	乾徳山に登る方々の避難所兼休憩所として、夏のシーズンを中心に多くの方の利用があります。 比較的新しく、建物も綺麗ですが、長く使うには定期的な保全が必要です。	今後も登山者の休憩所や避難小屋として運営していきます。	定期的に保全していきます。
西沢溪谷入口アメニティトイレ	W	80	1991	-	1	西沢溪谷の入口にあるトイレです	今後もその役割を維持していきます。	改修や建替に当たっては、利用者の皆さんの使いやすさと、清掃・保全のしやすさのバランスが取れるような手法を研究します。
焼山峠公衆トイレ	W	17	2001	-	1	焼山峠に登山する方が利用できるトイレです。	今後もその役割を維持していきます。	改修や建替に当たっては、利用者の皆さんの使いやすさと、清掃・保全のしやすさのバランスが取れるような手法を研究します。
柳平公衆トイレ	W	8	1991	-	1	乙女高原周辺に来訪する方が利用できるトイレです。		
大弛峠公衆トイレ	W	16	1996	-	1	大弛峠周辺に来訪する方が利用できるトイレです。		
塩平公衆トイレ	W	8	1991	-	1	塩平周辺に来訪する方が利用できるトイレです。		
小櫓山登山道入口公衆トイレ	W	10	1995	-	1	小櫓山に登山する方が利用できるトイレです。		
広瀬ダム (トイレ)	W	12	1992	-	1	広瀬湖に設置したトイレです。	広瀬ダムには駐車場側に県営の大きなトイレがあり、来訪した方々はそちらを主に利用しています。施設の老朽化も踏まえ、本施設の利用を停止します。	第1期後期を目安に解体とします。

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
西沢溪谷歩道内 公衆トイレ	W	27	2003	-	1	西沢溪谷の折り返し地点の付近にあるトイレです。	今後もその役割を維持していきます。	老朽化が進んだ建物も多く、今後は定期的な保全が必要になります。改修や建替に当たっては、利用者の皆さんの使いやすさと、清掃・保全のしやすさのバランスが取れるような手法を研究します。
西沢溪谷ねとり 公衆トイレ	W	48	1995	-	1	西沢溪谷の登山道の途中にあるトイレです。		
窪八幡神社 公衆トイレ	W	15	1975	-	1	主に窪八幡神社に参拝する方のためのトイレです。		
大石山公園 公衆トイレ	W	15	1985	-	1	主に大石山公園に来る方のためのトイレです。	今後も役割を維持していきます。	老朽化が進んでおり、今後は定期的な保全が必要になります。改修や建替に当たっては、利用者の皆さんの使いやすさと、清掃・保全のしやすさのバランスが取れるような手法を研究します。
山梨市駅前 観光案内所	W	54	2006	-	1	山梨市駅前に設置した観光案内所です。	今後も、山梨市の玄関口にある観光案内所として運営していきます。	定期的に保全していきます。
かのがわ広場	W	30	2010	-	1	来訪者が休憩する水辺の広場です。日常管理は地域の方々が行っています。	目標耐用年数の2070年、もしくは水車小屋が壊れるまでは、駅南口から続くかのがわ古道の終着点として、活用していきます。	目標耐用年数の2070年、もしくは水車小屋が壊れるまで地元区と協議しながら保全していきます。
牧丘町乙女高原 グリーンロッジ	W	658	1978	-	6	青少年宿泊体験施設として設置しましたが、現在はその役割を終え、年に数回、乙女高原の環境整備をしている団体が利用する以外は空き施設となっています。施設の活用が課題です。	今後も、ロッジの活用について検討していきます。	目標耐用年数である60年目を迎える2038年までに活用方法が見つからない場合は解体も視野に入れ、調整します。トイレについては、乙女高原の管理等で使用することがあり、今後も定期的に保全していきます。

## 《実施方針》

【凡例】 □:前期中規模改修 ■:後期中規模改修 ○:大規模改修 ◇:解体・売却・譲渡 ●:長寿命化改修 ◎:建替

第1期:2021~2030 第2期:2031~2040 第3期:2041~2050

施設名称	棟名称	施設方針		第1期			第2期		第3期	
		機能	建物	前期	中期	後期	前期	後期	前期	後期
三富温泉休憩施設 「みとみ笛吹の湯」	本棟	あり方検討により 方針決定・実施		あり方検討						
	温泉スタンド	廃止	解体	◇						
花かげの郷まきおか「道の駅」	物産センター	継続	長寿命化			○			■	
	倉庫	継続	長寿命化			○			■	
	公園あづまや	継続	長寿命化			○			■	
花かげの郷まきおか 「花かげの湯」	-	継続	予防保全		○			■		
花かげの郷まきおか「鼓川温泉」	本棟	あり方検討により 方針決定・実施		あり方検討						
	温泉スタンド	廃止	解体	◇						
三富交流促進センター 「道の駅みとみ」	-	継続	長寿命化		○				■	
牧丘交流促進センター	-	あり方検討により 方針決定・実施		あり方検討						
オ-チャ-ドヴィレヅジ・フフ	-	あり方検討により 方針決定・実施		あり方検討						
広瀬湖ふるさと記念館	-	廃止	解体		◇					
三富乾徳公園（トイレ）	-	継続	長寿命化	○				■		
三富みそ加工場	本棟	廃止	譲渡	◇						
	トイレ	廃止	譲渡	◇						
	地下倉庫	廃止	譲渡	◇						
大弛小屋	避難小屋	継続	長寿命化	●						
	トイレ	継続	長寿命化	●						

施設名称	棟名称	施設方針		第1期			第2期		第3期	
		機能	建物	前期	中期	後期	前期	後期	前期	後期
西沢山荘	本棟	廃止	解体		◇					
	トイレ	廃止	解体		◇					
三富久渡の沢つり場	-	廃止	解体		◇					
帯那山休憩所		継続	長寿命化		●			あり方検討		
高原ヒュッテ	-	継続	長寿命化				○		■	
西沢渓谷入口アメニティトイレ	-	継続	長寿命化	○				■		■
焼山峠公衆トイレ	-	継続	長寿命化				○			■
柳平公衆トイレ	-	継続	長寿命化	○				■		
大弛峠公衆トイレ	-	継続	長寿命化		○				■	
塩平公衆トイレ	-	継続	長寿命化	○				■		
小樽山登山道入口公衆トイレ	-	継続	長寿命化		○				■	
広瀬ダム（トイレ）	-	廃止	解体			◇				
西沢渓谷歩道内公衆トイレ	-	継続	長寿命化				○			■
西沢渓谷ねとり公衆トイレ	-	継続	長寿命化		○			■		
窪八幡神社公衆トイレ	-	継続	長寿命化	■			●			
大石山公園公衆トイレ	-	継続	長寿命化				■		●	
山梨市駅前観光案内所	-	継続	長寿命化	□				○		
かのがわ広場	-	継続	予防保全		□				○	
牧丘町乙女高原グリーンロッジ	ロッジ	継続	予防保全	■				◇		
	バイオトイレ	継続	長寿命化				○			■
	倉庫	継続	予防保全	■				◇		
	汲み取りトイレ	継続	予防保全	■				◇		
	あづまや	継続	予防保全	■				◇		
	ポンプ小屋	継続	予防保全	■				◇		

## 産業系施設(9 施設 16 棟)

### 《施設概要》

産業系施設は、主に労働者のための施設、農業に関する施策を推進する施設を対象にしています。施設によっては、老朽化や主な利用者の高齢化が見られ、今後の維持管理の手法、市の施設として用途を廃止した後の市としての考え方を整理すべく、早急なあり方検討が必要です。

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
夢わーく山梨	RC	2,745	1984	-	1	働く婦人の家及び勤労者福祉センターとして、現在は、主に女性勤労者向けの教室運営や貸館業務を実施しています。指定管理者制度を利用して民間団体に管理を委託しています。災害時の行政機能の代替施設に指定されていますが、笛吹川沿いに位置し、水害防止も頭に入れながら運営する必要があります。	女性勤労者向けの講座について、年間の利用人数の平均が延べ約1万人(2014～2019年)となっていますが、高齢化の傾向にあります。今後は「働く婦人の家機能」の将来像について検討が必要です。また、貸館の用途としては市民会館や街の駅やまなし、地区公民館等が類似施設としてあり、今後は貸館業務の在り方についても、市全体で検討する必要があります。	当面の間は長寿命化としますが、中規模改修を迎える前に施設のあり方を検討し、建物の方向性を決定していきます。
働く婦人の家別館	RC	696	1968	-	2	1984年に建設した新館(現:夢わーく山梨)に働く婦人の家の機能を移転した後は、別館として主に事業者向けの貸事務所として、有償貸付しています。竣工から50年以上経過し、建物自体の老朽化が進んでいるため、早急に施設の方向性を決定する必要があります。	現在借りていただいている事業者の皆さんの移転先の検討に協力します。	建物は2028年までに解体し、土地の活用についてランドデザイン計画や立地適正化計画等を踏まえて検討します。
夢ファーム	W	54	2004	-	2	「山梨市いきいき農地特区事業」により建てられた農機具倉庫とトイレです。現在、特区事業は終了していますが、NPO法人に土地及び建物を貸出し、主に都市に住んでいる方々の農業体験用の貸し畑として使っています。	現在、施設を借りてくれているNPO法人が継続の意向を示している間は、市としても継続して施設を提供していきます。各期中頃に、次期事業のあり方を検討していきます。	当面の間は長寿命化とします。今後はサービス提供の方向性に合わせ、建物の方向性を決定し、更新していきます。



施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性	
山梨市特産物加工センター	S	347	1981	-	1	三富村時代に、イノブタを加工する施設として整備されました。老朽化に加え、利用実績もないため、加工センターを令和元年に閉所し、現在は、一部を集会所として使用しています。	農産物加工や集荷所の利用減、設備の故障などから産業系施設としての役割をほぼ終えているため、まずは市の農業系施設としての用途を廃止します。	地元区の方々と今後の在り方を協議したうえで、第1期中に方針決定します。	
山梨市味噌・蕎麦挽き加工施設	S	57	1984	-	2	三富村時代に設置された味噌加工所・そば加工所の2棟です。味噌加工の設備が故障し、部品の関係で修繕不能となったこと、そば加工所の利用実績も勘案し、両施設ともに、令和元年に閉所しました。現在は、一部を集会所として使用しています。			その後、併せて持っていた、地元行政区の公会堂（集会所）としての機能について、他公会堂の管理運営方法、人口減の中での公会堂のあり方などを多角的に踏まえながら、地元区と検討していきます。
山梨市集荷所兼多目的集会施設	S	171	1982	-	1	集荷所の2階を集会所として利用しています。指定管理者制度を導入し、管理者は上柚木区の皆さんに施設を管理していただき、現在は集会所として使用しています。			
山梨市徳和地区集落多目的集会施設	W	264	1992	-	1	農山村地域における住民同士の交流を促進するため指定管理者制度を導入し、管理者は徳和区の皆さんに施設を管理していただいています。集会所としての利用が中心です。	地元行政区の公会堂（集会所）としての機能について、他公会堂の管理運営方法、人口減の中での公会堂のあり方などを多角的に踏まえながら、地元区と検討していきます。	地元区の方々と今後の在り方を協議したうえで、第1期中に方針決定します。	

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
山村文化資源保存伝習施設	W	122	1995	-	3	山村文化の継承を目的に、乾徳公園内の水車小屋及び山車の倉庫、あづまやを農水省の補助金を利用して建設しました。敷地内にトイレもあり、そちらは観光課が管理しています。 水車小屋の水車の破損やあづまやの老朽化等により、地元区のみなさんと施設のあり方を検討してきました。	徳和地区の伝統的な民俗文化として、地区の方々による「徳和天神祭」が例年実施されています。本施設の1棟である天神祭倉庫には祭りの山車が保存されており、今後も文化継承の拠点機能として運営していきます。	登山シーズンに起きてしまう駐車場不足解消のために山車小屋とトイレ以外の施設を解体し、公園全体を乾徳山登山者の駐車場として整備します。 山車小屋は当面の間、長寿命化とし、第2期後期に、その頃の地域の情勢を踏まえ、地元区とあり方検討を実施します。
山梨市総合営農指導拠点施設フルーツセンター	RC	1,370	1995	2019	3	笛吹川フルーツ公園内にあり、主にお土産の販売や、農業振興に関する情報提供や貸館業務を行っています。管理は、市と民間事業者が合同で出資・経営する第三セクターに、指定管理者制度を利用して委託しています。	当初の目的である、市内の農家支援・農業振興につながるような事業の実施について、指定管理者と検討していきます。	センターの保全及びさらなる事業推進のため、令和元年に大規模改修を実施しました。今後もサービス提供の方向性に合わせて維持管理していきます。 また、複合的な使い方も今後検討していきます。

## 《実施方針》

【凡例】 □:前期中規模改修 ■:後期中規模改修 ○:大規模改修 ◇:解体・売却・譲渡 ●:長寿命化改修 ◎:建替

■ 第1期:2021~2030 ■ 第2期:2031~2040 ■ 第3期:2041~2050

施設名称	棟名称	施設方針		第1期			第2期		第3期			
		機能	建物	前期	中期	後期	前期	後期	前期	後期		
夢わ-く山梨	-	継続	長寿命化		あり方検討							
働く婦人の家別館	別館1	廃止済【賃貸】	解体			◇						
	別館2	廃止済【賃貸】	解体			◇						
夢ファーム	農具室	継続	長寿命化				○			■		
	休憩所	継続	長寿命化				○			■		
山梨市特産物加工センター	-	廃止 ※農業施設としての用途廃止	あり方 検討	あり方検討								
山梨市味噌・蕎麦挽き加工施設	味噌加工施設											
	蕎麦加工施設											
徳和地区集落多目的集会施設	-											
集荷所兼多目的集会施設	-											
山村文化資源保存伝習施設	水車小屋	廃止	解体		◇							
	天神祭倉庫	継続	長寿命化		○			あり方検討				
	あづまや	廃止	解体		◇							
総合営農指導拠点施設 フルーツセンター	本棟	継続	長寿命化		○			■				
	マーケット	継続	長寿命化		○			■				
	屋外トイレ	継続	長寿命化		○			■				

## 子育て支援施設(14 施設 19 棟)

子育て支援施設は、大きくに保育園、児童センター、学童クラブの 3 種類に分けています。保育園、学童クラブは保護者の就労などの理由で、家庭で保育できない未就学児もしくは児童を、保護者に代わって保育する施設です。学童クラブは、児童センター内や、学校内で運営している場合や、学校の敷地内に単独で運営している場合など、地区ごとに多様な形で運営しています。児童センターは、子どもの健全な遊び場及び遊びの指導を行う機能を持つ施設です。

### 保育園(9施設 14 棟)

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性	
岩手保育園	RC	448	1981	2013	1	<p>現在運営している公立保育園は 6 施設あり、368 人(2020 年 10 月)の未就学児を保育しています。</p> <p>令和元年度の出生数が約 200 人だったこと、民間が経営する保育園や幼稚園もあることから、今後は、公立保育園のいくつかの施設の廃園を検討していかねばならないと考えます。</p>	児童数の減少などを見極めながら、今後、保護者や地域等と協議する中で方向性を検討していきます。	サービス提供の方向性に沿って方針を実施していきます。	
後屋敷保育園	RC	441	1980	2011	1		<p>第 1 期に八幡・窪平保育園の在り方について、第 2 期に後屋敷・八日市場保育園の在り方について検討する方向です。山梨保育園は、立地条件の良さなどから、児童数は横ばいのため、今後も運営すべき施設として長寿命化も視野にいられて維持管理していきます。</p>		
山梨保育園	RC	1,037	1975	2010	3				
八日市場保育園	RC	414	1973	2011	3		<p>保育園建設時の条件をクリアにしなが、土地及び建物をお返しする方向です。</p>		
八幡保育園	RC	637	1976	2012	2				
窪平保育園	RC	595	1987	-	1		<p>各地域の子どもたちの保育を担ってきましたが、児童数の減少により休園となっています。当時は、いずれ子どもたちが増えたら再開する方向での話し合いでしたが、残念ながら現状では地域の児童数は増えておらず、廃園を検討する中で用途廃止後の活用を考えていく必要があります。</p>		<p>地域で活用の意向もあるとのことから、廃園も踏まえて、地域と協議する中でサービスのあり方を検討します。</p>
倉科保育園	RC	384	1977	-	1				
西保保育園	RC	310	1974	-	1				
杣口保育園	RC	377	1979	-	1				

児童福祉施設(5 施設 5 棟)

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積(m <sup>2</sup> )	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
日川学童クラブ	W	117	2007	-	1	放課後において保護者が家庭で養育できない児童の健全育成の場となっています。 現在、社会福祉協議会に運営管理を委託しています。	学童のクラブのあり方については、学校の統廃合と足並みを揃え、方向性を決定していきます。	当面は長寿命化を視野に入れていきますが、今後、サービス提供の方向性をふまえて施設のあり方を検討します。
笛川学童クラブ	W	127	2017	-	1	施設自体は比較的新しいものですが、今後は維持管理経費や修繕費の増大が予想されます。		
加納岩児童センター(加納岩学童クラブ)	RC	319	1984	-	1	児童の健全な遊び場として、また、子育ての相談窓口として利用されています。	第3期前期から、その時点の利用児童数を見通しながら、学童クラブの小学校空き教室への移転などを検討します。	
日下部児童センター(日下部第1・第2学童クラブ)	RC	371	1985	-	1	現在、指定管理者により管理運営を行っており、令和元年度は3施設で延べ3,803人が利用しています。		
山梨児童センター(山梨学童クラブ)	W	381	2004	-	1	加納岩及び日下部児童センターは、建設から30年以上経ち、施設の老朽化が進み、今後、修繕費がかさむことが予想されます。子どもたちが集まる場所としてより慎重な維持管理が必要です。		
						また、児童センター内に併設されている学童クラブのあり方も検討する必要があります。	児童センターの持つ「子どもの遊び場機能」について、他施設への機能移転の可能性も考慮しながら検討します。	サービス継続の場合、施設は規模縮小で建て替えか長寿命化を決定し、それに合わせてメンテナンスをしていきます。 サービス終了または機能移転の場合、廃止後の施設について、用途変更・売却・解体の是非など、多角的に検討していきます。

## 《実施方針》

【凡例】 □:前期中規模改修 ■:後期中規模改修 ○:大規模改修 ◇:解体・売却・譲渡 ●:長寿命化改修 ◎:建替

■ 第1期:2021~2030 ■ 第2期:2031~2040 ■ 第3期:2041~2050

施設名称	棟名称	施設方針		第1期			第2期		第3期	
		機能	建物	前期	中期	後期	前期	後期	前期	後期
岩手保育園	-	あり方検討の結果により実施		あり方検討						
山梨保育園	本棟	継続	長寿命化	■			●			
	トイレ	継続	長寿命化	■			●			
	置場	継続	長寿命化	■			●			
八日市場保育園	本棟	あり方検討の結果により実施					あり方検討			
	トイレ									
	倉庫									
後屋敷保育園				■						
八幡保育園	第1	あり方検討の結果により実施		あり方検討						
	第2									
窪平保育園	-									
倉科保育園	-	廃止	返却			◇				
西保保育園	-	廃止	あり方検討	あり方検討						
杣口保育園	-	廃止								
加納岩児童センター (加納岩学童クラブ)	-	継続	長寿命化			■				
日下部児童センター (日下部第1・第2学童クラブ)	-	継続	長寿命化				■		あり方検討	
山梨児童センター (山梨学童クラブ)	-	継続	長寿命化				○			
日川学童クラブ	-	継続	長寿命化	□				○		
笛川学童クラブ	-	継続	長寿命化				□			

## 保健・福祉施設(5 施設 6 棟)

保健・福祉施設は、主に高齢者や障害者の暮らしを支える施設を対象としています。高齢社会の最中にあり、高齢者向けサービスへの需要はまだ高い一方で、民間事業者が提供するサービスも充実しています。老年人口のピークを迎える、2025 年頃までに、市としてのサービスについて検討が必要です。障害者施設についても民間事業者の方とも連携を密にし、障害を持つ方の暮らしやすさを考えたサービスを提供していきます。

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
老人健康福祉センター	RC	2,370	1995	-	1	<p>高齢者の健康増進・教養の向上を目的に、温泉やレクリエーション事業の実施や、高齢者の生活相談を受付けるほか、介護保険制度によるデイサービスセンターを展開してきました。</p> <p>災害時には福祉避難所を設置する施設となっています。</p>	<p>今後も、高齢者の生活を支える施設として維持管理していきますが、高齢者人口がピークを迎える 2025 年以降について、民間の事業所との役割分担の中で、市のデイサービスの在り方を検討していきます。</p>	<p>今後も引き続き定期的に保全しますが、サービスの在り方検討の結果次第で、施設の方向性も決定します。</p> <p>また、長寿命化の対象施設の中でも比較的規模の大きい施設であることから、今後は、複合化・多目的化も前提として検討していきます。</p>
山梨市三富デイサービスセンター	RC	361	1990	-	1	<p>三富地域で高齢者向けデイサービスを運営してきましたが、複数の民間事業者が経営するデイサービスが地域で事業を展開しているため、現在市としては実施せず、週に 2 回、10 人程度のミニデイサービス事業を実施しています。</p> <p>今後は、社会福祉施設としてのあり方を検討していく必要があります。</p>	<p>高齢者の数がピークを迎える 2025 年までは、定期的にミニデイを実施する予定ですが、それ以降については、民間のデイサービスセンターが充実していることも考慮し、サービスの終了も踏まえて検討します。</p>	<p>老朽化しており、福祉施設としての用途以外で利用することも視野に、施設のあり方を検討します。特に、隣接する三富笛吹の湯等と合わせて、エリアとしての活用の可能性があります。観光施設の誘致等幅広い視点で協議していきます。</p>

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
ひまわりの家	W	66	1994	-	1	旧牧丘町水道企業団の施設で、現在は、主に牧丘・三富地域の障害者の作業所の拠点です。2019年に山梨地域に開設した「結」への統合を検討、交通手段の関係で実現しませんでした。現在は、両施設の利用者の、日常的な交流も図っています。 傾斜地に立地し、災害時に危険が生じる可能性を認識しています。	ゆいとの統合を引き続き検討していきます。「交通手段の確保」「利用者の障害特性を踏まえた環境の変化への対応」が必要です。	近年頻発するゲリラ豪雨などの対策を考慮した施設の立地や、水道設備の老朽化等を考慮したあり方検討をします。統合した場合は解体、統合しない場合も、別地に移転する方向で検討します。
旧市川保育園	RC	791	1979	-	1	「山梨市総合戦略」等に基づき「医療・福祉・介護関連のしごとを増やす」ことを目指し、旧市川保育園の廃園後から民間事業者に貸出しています。 施設の部分的な劣化が進んでいます。	借主の意向がある限りは今後も障害者の就労支援施設として使っていただきます。	借主と、売却も視野に入れて調整していきます。
養護老人ホーム 晴風園	RC	1,514	1973	-	2	経済的や環境上の理由で措置された高齢者のくらしを支えるために設置されました。	サービスの向上や効率的な運営を目指し、指定管理者制度の導入を検討します。	今後の利用者の状況や、施設の老朽化を踏まえ、第2期前期にあり方検討を実施し、その後の方針を決定します。



## 《実施方針》

【凡例】 □:前期中規模改修 ■:後期中規模改修 ○:大規模改修 ◇:解体・売却・譲渡 ●:長寿命化改修 ◎:建替

■ 第1期:2021~2030 ■ 第2期:2031~2040 ■ 第3期:2041~2050

施設名称	棟名称	施設方針		第1期			第2期		第3期	
		機能	建物	前期	中期	後期	前期	後期	前期	後期
老人健康福祉センター・ 山梨デイサービスセンター	-	継続	長寿命化		あり方検討					
山梨市三富デイサービスセンター	-	あり方検討の結果により 実施		あり方検討						
ひまわりの家	-	あり方検討の結果により 実施		あり方検討						
旧市川保育園	-	廃止	譲渡・ 売却			◇				
養護老人ホーム晴風園	本棟	継続	予防保全				あり方検討			
	多目的集会室									

## 医療施設(6 施設 6 棟)

医療施設は、主に病院など、市民の皆さんに医療を提供する施設を対象としています。市内には、総合病院も含めた様々な医療機関があり、今後も連携しながら市民の皆さんの健康を守っていきます。

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
山梨市立 牧丘病院	RC	1,458	1979	-	1	<p>主に牧丘・三富地域の住民の皆さんを対象とする医療拠点として設立しました。現在は、指定管理者制度を導入し、民間事業者に経営を委託しています。</p> <p>在宅医療に注力し、地域医療の最前線モデルともいえる病院です。</p> <p>令和元年度に国の公立病院再編計画の対象になりましたが、山梨市地域医療戦略で、病床数を減らしての存続を決定しました。老朽化による修繕が増えており、計画的な修繕が必要であること、まだ実施されていない大規模改修の費用確保などが課題です。</p>	<p>当面は、牧丘・三富地域の医療を支える病院として継続して運営していきませんが、今後の人口減を鑑みて、病院経営の在り方は模索し続ける必要があります。市の医療支援体制がどのようになれるべきか、あり方を整理した上で、民間病院との棲み分けや、持続可能な在宅訪問医療の仕組み作りなどを委託者と協議し、再構築していきます。</p>	<p>現状では長寿命化の方向ですが、サービス提供の在り方によっては、長寿命化せずに、規模を縮小した上での改修や建替、解体という方向性もあり得ます。第1期後期～第2期前半の地域の意向や病院経営の状況と展望を正しくつかむことが判断の重要な土台になると考えています。</p>
三富診療所	RC	319	1990	-	1	<p>主に三富地域の住民の方々の健康保持に必要な医療を提供する拠点として設立しましたが、人口減を発端とする経営的な観点から、2016年に医療施設としての役割を終ました。</p> <p>施設の活用、解体等の早急な検討が必要です。施設内に古くなった医療器具が残り、処分方法・費用の確保が課題です。</p>	<p>病院としての役割は終えており、現在、三富地域の住民の方々の医療は、牧丘病院をはじめとする近隣の病院でカバーしています。</p>	<p>売却・譲渡に向けて調整しますが、2025年までに引き受け手がいない場合は解体とします。</p>

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
牧丘病院 医師住宅 A 棟	W	84	1976	-	1	<p>牧丘病院の医師の住居として建設されました。現在は、運営を委託している民間事業者は無償貸与しています。</p> <p>竣工から 30～40 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。特に A、B 棟については 1981 年の旧耐震基準で施工されていて耐震性に懸念があります。</p>	事業者と協議する中で決定します。	<p>耐震性を考え、市としては解体の意向ですが、事業者との協議の中で、住居以外の利用を前提とした存続の意向がある場合は、売却・もしくは譲渡も検討します。</p> <p>時期は 2025 年までをめどにします。引受けの意向がない場合は、2030 年までに全施設を解体します。</p>
牧丘病院 医師住宅 B 棟	W	85	1980	-	1			
牧丘病院 医師住宅 C 棟	W	91	1991	-	1			
山梨市立 産婦人科医院	RC	1,674	2017	-	1	<p>主に山梨市民が安心して妊娠、出産及び産後を過ごせる環境整備を目的として設立しました。周産期医療の拠点であり、産前・産後ケアセンターとしての機能も担っています。現在は、指定管理者制度を利用し、医療法人に経営を委託しています。山梨市全体の出生数のうち、約半数の出産を支えています。(2016～2018 年)</p>	<p>今後も、周産期医療及び産前産後ケアの拠点として維持管理していきます。</p>	<p>医療施設・特に母子の命を預かる施設であることから、非常に高度かつ専門的な施設・設備が必要です。</p> <p>医療施設ではありますが、今後は産前産後に係る幅広い事業が実施できるよう、複合化の視点も持ちながら経営を進めていきます。</p>

## 《実施方針》

【凡例】 □:前期中規模改修 ■:後期中規模改修 ○:大規模改修 ◇:解体・売却・譲渡 ●:長寿命化改修 ◎:建替

■ 第1期:2021~2030 ■ 第2期:2031~2040 ■ 第3期:2041~2050

施設名称	棟名称	施設方針		第1期			第2期		第3期	
		機能	建物	前期	中期	後期	前期	後期	前期	後期
山梨市立牧丘病院	—	継続	長寿命化		■	あり方検討				
三富診療所	—	廃止	解体		◇					
牧丘病院医師住宅 A 棟	—	廃止	譲渡		◇					
牧丘病院医師住宅 B 棟	—	廃止	譲渡		◇					
牧丘病院医師住宅 C 棟	—	廃止	譲渡		◇					
市立産婦人科医院	—	継続	長寿命化			あり方検討				

## 行政系施設(23 施設 39 棟)

行政系施設は、市政運営になくってはならない、庁舎やサーバ室等を主な対象とするほか、現在は行政施設としての用途が終わり、普通財産として貸付けている施設や、政策的な観点から設置した施設などを対象としています。

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
旧山梨市情報通信センター	RC	201	2009	-	1	市民向けの PC 教室・談話室として利用していたものを 2012 に廃止し、現在はサーバ室として利用しています。浸水想定地域に含まれており、移転の検討が必要です。	行政事務の基幹ともいえる様々な電子情報を保管・運用するためのサーバを保有しているため、今後も重要な施設として機能を維持します。	災害等有事に備え、サーバ室の庁舎内移転を検討します。その際には空き施設のあり方についても併せて検討していきます。
山梨市役所	S	12,287	1970	2017	5	民間企業から土地を購入し、建物の寄付を受けて 2008 年に改修、庁舎機能を移転しました。体育館も防災倉庫として使用しています。修繕費が年々増大しています。	本市の行政機関の中核として今後も市民のみなさんのニーズに合ったサービスを提供していきます。	長寿命化を前提とした維持管理をしていきます。改修に際しては複合施設としての利用も検討します。
山梨市社会福祉協議会庁舎	RC	347	1967	-	6	今までは市の施設を貸し付けていましたが、施設の老朽化の伴い、社会福祉協議会の資本により庁舎を新設します。庁舎以外に貸付けている施設については、社会福祉協議会と協議し、引受け等の意向がない場合、解体します。	特にありません。	本棟以外の施設について、社会福祉協議会と協議しながらあり方を決めていきます。
旧保健センター	RC	661	1982	-	1	保健センター機能の本庁舎内への移転に伴って空いた施設を、組合に有償(土地)で貸し付けています。	今後も継続して貸出します。	目標耐用年数までは現在と同様に維持管理していきます。経過後は、借主からの承諾を得た上で、解体します。
旧笛吹川沿岸土地改良区事務所	W	326	1970	-	1	土地改良区の事務所移転に伴い空き施設になった建物を、現在は観光課の倉庫として利用。築 50 年を迎え、施設の老朽化が進んでいます。	置かれている荷物を仕分けながら、今後も倉庫として活用していきます。	目標耐用年数 60 年目である 2030 年までに、倉庫利用の施設の荷物整理と、残す荷物の置き場所を確保し、解体します。

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
陶芸工作室 (社協敷地内)	CB	19	1993	-	1	陶芸を焼く窯を設置しています。現在は、公民館活動や生涯学習団体に10人程度が年1~2回使う以外は、利用がありません。	窯を利用する際の燃料費等は使用する方の負担であり、それ以上に市が費用負担することもないため、当面は現状のまま運営していきます。	窯が壊れるなどした場合、修繕・改修費と利用見通しのバランスを見極めたいうで、解体も視野に利用団体と協議いたします。
エコハウスやまなし	W	161	2009	-	1	新エネルギーやエコに関する知識や情報提供の場として設置されましたが、現在はその機能に併せて移住定住促進のためのお試し住宅として主に市外・県外の方々に貸し出しをしています。	2035年までは、エコハウスの機能やお試し住宅だけでなく、多用途での活用ができるようにしていきます。	活用の検討と同時進行で、売却等の可能性も探ります。2035年を目処に売り先が見つからない場合は解体とします。
ムカワホーム跡地1	S	309	1980	-	1	都市計画道路の代替地として購入しました。早急な活用検討が必要です。	グランドデザイン計画を念頭に、早急に活用方針を決定します。	活用の方針に従って施設の方針を決め、実施します。
ムカワホーム跡地2	W	267	1980	-	1			
旧岩間邸	W	80	1964	-	1	所有していた方からの寄付をいただき、市の施設となりました。	土地の活用のため、施設のあり方を早急に検討します。	
旧国税局山梨寮	RC	934	1977	-	1	駅南口開発の代替地として購入しました。購入に際して付与された条件に沿った活用が重要です。		
水防本部倉庫	S	220	1979	-	1	本庁の水防に必要な資材や事業課の器具・資材を保管中です。	市役所に設置してある防災倉庫とともに災害時に有効活用します。	定期的に維持管理します。
山梨市営駅前駐車場	その他	3,869	2004	-	1	駅南口開設にあたり、同様の施設の設置の可能性があります。維持管理費の増大への対応が課題です。	今後も、駅利用者の利便性を考えて維持していきます。運営については、市の直営でない方法も今後検討していきます。	サービス提供の方針に併せて定期的にメンテナンスしていきます。
山梨市営 駅東自転車駐車場	S	179	2004	-	2			
山梨市駅 北口公衆便所	RC	34	2003	-	1	駅を利用する方の利便性を考え、設置しました。	今後も、駅利用者の利便性を考えて維持していきます。	
山梨市駅 南口公衆便所	S	54	2020	-	1			
東山梨駅公衆トイレ	RC	16	1990	-	1			

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積(m <sup>2</sup> )	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	概要	サービス提供の方向性	施設の方向性
山梨市牧丘駐車場	S	98	1985	-	2	商工会牧丘支部が移転し、現在は倉庫として利用しています。	現在は、倉庫利用のみとなっており、他用途に使う予定はありません。	2030年を目安に倉庫の荷物を仕分けて他施設に分散移転し、解体します。
山梨市役所牧丘庁舎 (牧丘支所) (諏訪公民館)	SRC	2,878	1983	2015	4	旧牧丘町の庁舎です。2016年に、複合施設としての改修工事を実施し「庁舎」、「総合会館」、「諏訪公民館」、「社協牧丘支所」の4つの機能がいった牧丘町総合会館となりました。 総合会館としての稼働率がここ2年で1割と低いですが、現状では高齢化が進んでおり、支所機能は必要なため今後も維持管理が必要です。	令和3年2月に、山梨中央銀行牧丘支店が入居することとなり、1か所で様々な用事を済ませることができるようになりました。 今後も、主に牧丘地域の皆さんの利便性を考えて運営していきます。	施設は長寿命化を前提として保全しますが、60年目の2043年に向けて施設のあり方検討を行ない、その時点で方針を決定します。
山梨市役所三富庁舎 (三富支所)	RC	1,229	1983	2014	1	2014年太陽光発電の工事を実施。職員7人で運営しているため、スペースに余裕あり、現在は展示等で利用しています。 余剰スペースの活用が難しく、施設の早急なあり方検討が必要です。	三富地域の皆さんの利便性を考え、今後のあり方を検討していきます。	今後の三富地域の人口規模を考慮し、基幹集落センター、三富支所のあり方を併せて検討していきます。旧三富小学校についても、企業誘致の状況をふまえ、一体的に考えていきます。
三富庁舎倉庫	S	198	1996	-	1	合併後は観光課の祭りの道具や水道課の資材、三富支所の資料を保管しているほか、施設の1部を地元消防団の詰所として利用しています。	当面の間は三富分団の詰所兼倉庫として維持管理していきます。	目標耐用年数までは予防保全にて維持管理し、到来後は解体します。
三富庁舎車庫	S	98	1997	-	1	旧三富村時代に送迎バスの車庫として建設。現在、利用はなく、活用の検討が必要です。	活用に向けて検討していきます。	
旧三富保育園	RC	500	1987	-	1	三富地域の未就園児の保育の場として建設しましたが、現在はその役割を終え、地域商社の拠点・農業体験宿泊施設として活用しています。	今後も契約に従って地域商社への貸出しを継続します。	長寿命化せず、目標耐用年数までは予防保全で維持管理し、目標耐用年数が到来後は、その時の利用企業・団体と、解体の方向で調整します。



## 《実施方針》

【凡例】 □:前期中規模改修 ■:後期中規模改修 ○:大規模改修 ◇:解体・売却・譲渡 ●:長寿命化改修 ◎:建替

■ 第1期:2021~2030 ■ 第2期:2031~2040 ■ 第3期:2041~2050

施設名称	棟名称	施設方針		第1期			第2期		第3期	
		機能	建物	前期	中期	後期	前期	後期	前期	後期
旧山梨市情報通信センター	-	継続	市有施設 移転		◇					
山梨市役所	西館	継続	長寿命化				●			
	東館	継続	長寿命化				●			
	体育館	継続	長寿命化				●			
	車庫 1	継続	長寿命化				●			
	車庫 2	継続	長寿命化				●			
山梨市社会福祉協議会庁舎	倉庫	廃止済 【貸付】	解体			◇				
	会議室 1	廃止済 【貸付】	解体			◇				
	会議室 3	廃止済 【貸付】	解体			◇				
	渡り廊下 1	廃止済 【貸付】	解体			◇				
	渡り廊下 2	廃止済 【貸付】	解体			◇				
	自転車置き場	廃止済 【貸付】	解体			◇				
	自転車倉庫	廃止済 【貸付】	解体			◇				
旧保健センター	-	廃止	解体			◇				
旧笛吹川沿岸 土地改良区事務所	-	廃止	解体			◇				
陶芸工作室（社協敷地内）	-	継続	予防保全	○				■		
エコハウスやまなし	-	廃止	売却				◇			
ムカワホーム跡地 1	-	廃止済	解体						◇	

施設名称	棟名称	施設方針		第1期			第2期		第3期	
		機能	建物	前期	中期	後期	前期	後期	前期	後期
ムカワホーム跡地2	-	廃止済	解体						◇	
旧岩間邸	-	廃止済	解体		◇					
旧国税局山梨寮	-	廃止済	解体		◇					
水防本部倉庫	-	継続	長寿命化		◆			●		
山梨市営駅前駐車場	-	継続	長寿命化				○			■
山梨市営駅東自転車駐車場	1	継続	長寿命化				○			■
	2	継続	長寿命化				○			■
山梨市駅北口公衆便所	-	継続	長寿命化				○			
山梨市駅南口公衆便所	-	継続	長寿命化					□		
東山梨駅公衆トイレ	-	継続	長寿命化	○				■		
山梨市牧丘駐車場	倉庫	廃止済	解体				◇			
	事務所	廃止済	解体				◇			
山梨市役所牧丘庁舎 (牧丘支所) (諏訪公民館)	本棟	継続	長寿命化			■		あり方検討		
	車庫	継続	長寿命化			■				
	倉庫	継続	長寿命化			■				
	プロパン庫	継続	長寿命化			■				
山梨市役所三富庁舎 (三富支所)	-	あり方検討の結果により実施		あり方検討						
三富庁舎倉庫	-	継続	予防保全		○				■	
三富庁舎車庫	-	継続	予防保全			○			■	
旧三富保育園	-	廃止済【賃貸】	解体				■			◇

## 消防施設(61 施設 61 棟)

### 詰所(54 施設 54 棟)

1970 年代竣工の詰所が多くありますが、消防団そのものの運営を持続可能にし、有事でも安全に出動できるよう、2018 年に策定した消防団再編計画に基づき、消防団の統合および老朽化の進んだ施設の順次建替えを実施しています。

### 水防施設(7 施設 7 棟)

水防施設は、山梨地域の水防倉庫の計 7 施設があり、水害防止や、発災時に使用する土のう袋や水防資材などが保管してあります。牧丘三富地域の水防倉庫は、各支所内に、倉庫と同様の設備が用意してあります。水防施設については、長寿命化を前提に定期的に維持管理していきます。なお、山梨地域の水防倉庫の管理は、消防団の各地区分団に委託しています。

## 《実施方針》

【凡例】 □:前期中規模改修 ■:後期中規模改修 ○:大規模改修 ◇:解体・売却・譲渡 ●:長寿命化改修 ◎:建替

第 1 期:2021~2030 第 2 期:2031~2040 第 3 期:2041~2050

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積 (㎡)	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	第1期			第2期		第3期	
						前期	中期	後期	前期	後期	前期	後期
加納岩水防倉庫	S	33	2010	-	1		□				○	
日下部水防倉庫	S	33	1979	-	1		■			●		
後屋敷水防倉庫	S	33	1996	-	1		○				■	
山梨水防倉庫	S	33	1985	-	1				■		●	
日川水防倉庫	S	33	1985	-	1				■		●	
八幡水防倉庫	S	33	1990	-	1	○			■			
岩手水防倉庫	S	40	1985	-	1				■		●	

## 住宅施設(31 施設 149 棟)

本市の公営住宅については、公営住宅等のストックの活用手法のうち、「維持管理」と「改善」の実施計画を定めた「山梨市公営住宅等長寿命化計画」を2011年に策定し、維持管理・更新・廃止を進めてきました。さらに、計画策定から一定時間が経過していることから、改めて市内の住宅事情やストックの状況を把握するために、2020年3月に、改訂を行いました。詳細については「山梨市公営住宅等長寿命化計画」をご覧ください。

## 公園施設(8 施設 42 棟)

万力公園と旧山梨地域内の7公園を指します。公園については、公園長寿命化計画の中でその維持管理更新の手法及び時期を定めています。

## 供給処理施設(3 施設 6 棟)

供給処理施設は、長く市の上水道を管理してきた水道管理室、下水処理及びごみ処理を担ってきた環境センター、廃食油を燃料に変えるバイオディーゼル燃料製造施設の3施設を指します。

水道管理室は、建物の他に調整池やポンプ設備、高圧受電設備等があります。現在、水道施設再配置計画の策定に向けて準備をしていますが、その中で、水道管理室の今後の方針についても検討していきます。

環境センターは2017年に、甲府・峡東地域一帯のごみ処理を担う甲府・峡東クリーンセンターが開設したことにより、ごみ処理施設としての役割を終え、現在は、直接施設に持ち込まれたごみを一時的に保管するストックヤードと、し尿処理場の2つの機能を担っています。ストックヤードについては、長期的な観点で維持管理し、第3期の前期に、その先を見据えたあり方を検討します。また、し尿処理場については、山梨市し尿処理場改造計画において適切な維持管理更新を実施していきます。

バイオディーゼル燃料製造施設は、家庭の廃食油を回収し燃料に変える施設として2008年に設置しました。現在は八幡小のスクールバスに利用していますが、最近主流のエンジンはバイオディーゼル燃料を受け付けないことから、1996年式である八幡小のバスが廃止になると燃料を使用する車がなくなります。そのため、燃料の製造は2020年度末までとし、2021年度以降は回収のみ行なうという方向になっています。施設は比較的新しい施設ですが、壁に付着した油の処理などの問題があるため、廃油回収後の処理方法などを今後検討し、2023年度までに解体する方向です。

## 《実施方針》

【凡例】 □:前期中規模改修 ■:後期中規模改修 ○:大規模改修 ◇:解体・売却・譲渡 ●:長寿命化改修 ◎:建替

■ 第1期:2021~2030 ■ 第2期:2031~2040 ■ 第3期:2041~2050

施設名称	主たる施設の構造	総延床面積(m <sup>2</sup> )	主要な棟の竣工年	大規模改修年	棟数	第1期			第2期		第3期	
						前期	中期	後期	前期	後期	前期	後期
バイオディーゼル燃料製造施設	S	65	2008	-	1	◇						
環境センターストックヤード	S	610	2019		1				□		あり方検討	